

# 国労仙台総支部第二十二回定期委員会報告

**二〇一二年春闘勝利！職場の労働条件改善へ**

2月29日(水)に仙総支部は、十符の里プラザにおいて、定期委員会を開催しました。司会の阿部副委員長から、「私たちは昨年の定期大会において、闘う方針を確立しこの間取り組んできた。今委員会において、この半年間の運動の総括を行い、今後の運動につなげていきたい」と挨拶がありました。委員会は、資格審査で委員16名中14名の参加を確認し、委員会成立が宣言されました。

来賓として、地本五十嵐書記長は「放射能問題や異常事態体制の問題や出向先の労働条件と今この課題が山積みとなっており、今後は力を合わせて共に闘って行く問題の解決に向けて共に闘って組織拡大に向けた取り組みを行ってほしい」とバス会社での手当は正等、これまでの取り組みの経過を報告しました。

議長に台車分会・鈴木委員を選出し、鈴木議長は原発問題、職場環境問題等に触れながら「一連続ベアゼロ、一時金に至っては夏冬合わせて〇.三四%カッした」と挨拶を行いました。

議事は、定期大会以降の運動の総括、二〇一二年春闘勝利のための労働環境等の改善を含めた当面する運動方針を確立しました。

## 庄司委員長挨拶

二〇一二年春闘の情勢は、労働者に与える影響が大きい。春闘は、労働者の権利を守るための重要な機会である。今年も、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。

出始めの八項目の基本目標を達成し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。

この委員会では、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。

## 地本五十嵐書記長挨拶

地本は昨年の定期大会以降、各支部の活動を支援し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。委員長として、労働者の声を代弁し、労働条件の改善を求め、闘う覚悟を決めている。

